

松江市まち・ひと・しごと創生第 1 次総合戦略  
実績・評価報告書

# 1 はじめに

松江市まち・ひと・しごと創生第1次総合戦略の施策の評価については、第2次総合戦略策定時に平成30年度実績を踏まえて取りまとめを行っていますが、第1次総合戦略の終了に伴い、この度、改めて指標の評価を見直し、総括するものです。

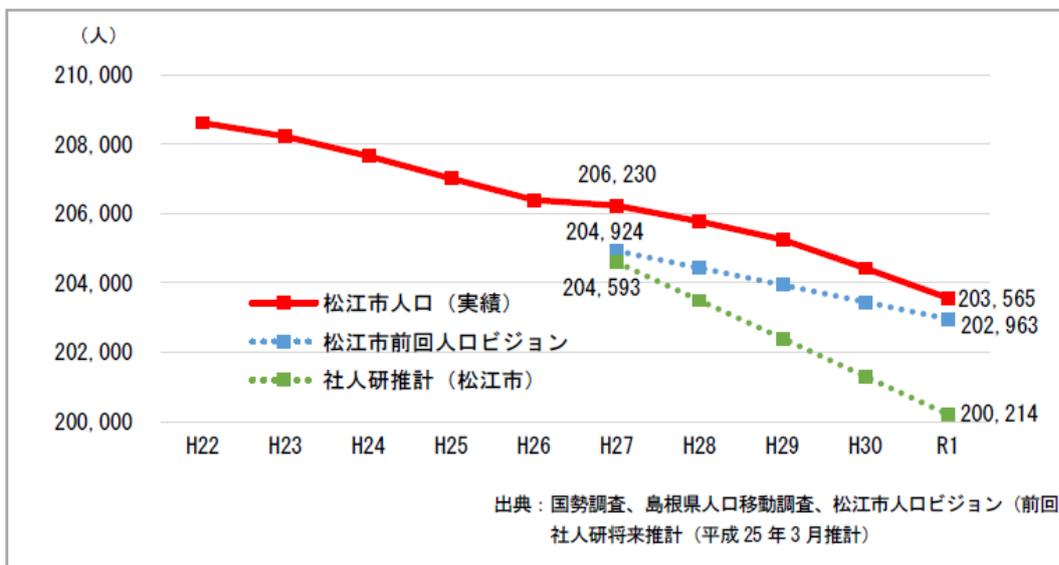
## 2 第1次総合戦略期間中の人口動態

### (1) 松江市人口ビジョン（平成27年10月策定）

- ・2060年に人口18万人を確保
- ・そのため、出生数 約2,000人/年、社会増 平均270人/年 をめざす。

### (2) 人口の推移

- ・5年間の人口の推移は、人口ビジョンを上回っていますが、依然として減少を続けています。



### (3) 2つの挑戦の実績

- ・第1次総合戦略の期間中、一度も挑戦目標に届いていません。

	挑戦目標	H27	H28	H29	H30	R1
<b>出生数（人）</b>	<b>2,000</b>	<b>1,838</b>	<b>1,766</b>	<b>1,676</b>	<b>1,576</b>	<b>1,618</b>
<b>社会増減（人）</b>	<b>270</b>	<b>-443</b>	<b>40</b>	<b>214</b>	<b>29</b>	<b>-107</b>
うち男性	-	-163	138	188	75	-28
うち女性	-	-280	-98	26	-46	-79

※出典：島根県人口移動調査

### 3 施策の実施状況（数値目標の達成度）

#### 【数値目標の評価方法】

目標値と令和元年度までの実績値を比較して達成率を算出し評価区分を判定しています。

達成率が100%以上をA、99～80%をB、79～60%をC、59%以下をDと分類しました。

#### 【数値目標における実績・評価一覧】

基本目標	項目	数値の説明	戦略策定時	実績値 ※5ヵ年：h27-R1計	数値目標 (R元年・5ヵ年)	評価
1	雇用創出数	企業の新增設、企業誘致に伴う雇用者数	—	575人増/5ヵ年	581人増	B
	一次産業新規就業者数	一次産業（農業、林業、水産業）に従事する新規就業者	—	181人増/5ヵ年	156人増	A
2	UIターン者数	転入時アンケート	新規	1,104人/R1	1,583人	C
	まちづくりに参加する学生の割合	まちづくりのための学生アンケート	55%/H27	64.6%/R1	80%	B
	市内企業へ就職する生徒・学生数	市内高等学校	250人 /H25-27平均	244人/H31	275人/年	B
市内専修学校、高等教育機関		364人 /H25-27平均	330人/H31	400人/年		
3	子育て支援策の満足割合	まちづくりのための市民アンケート。分母は「わからない」と回答した人数を除く。	55%/H27	64.5%/R1	80%	B
	女性の就業率（25～44歳）	就業構造基本調査	77.6%/H27	85.1%/H29	80%	A
4	住みやすさの実感割合	まちづくりのための市民アンケート	90%/H27	86.3%/R1	95%	B
	健康寿命（65歳以上平均自立期間）※1	国民生活基礎調査に基づき算出（女性）	20.94年/H20	21.10年/H27	21.15年	B
		国民生活基礎調査に基づき算出（男性）	17.24年/H20	17.83年/H27	17.78年	A
5※2	圏域人口	松江市、出雲市、安来市、米子市、境港市、大山圏域町村の計	66.0万人/H27	64.5万人/R1	65.4万人	-

※1 SHIDS 島根県健康指標データベースシステムにより島根県で算出

※2 中海・宍道湖・大山圏域市長会総合戦略推進委員会で検証済み

### 4 総括評価

- ◆本市の人口ビジョンで示した2060年に18万人確保をめざして設定した2つの挑戦目標（出生数2,000人/年、社会増270人/年）は、5年間で一度も達成できていません。
- ◆数値目標10項目のうち、3項目は目標を達成（A）しています。また、6項目は目標値の80%以上を達成しており（B）、B評価6項目のうち4項目は戦略策定時の数値を上回っています。これら数値目標の達成状況から本市の施策の実施状況は概ね良好であったと言えます。
- ◆2つの挑戦目標に施策の効果が現れていない理由は、施策により得られる効果を上回る、次の要因が影響していると考えられます。

#### 【挑戦1 出生数2,000人/年】

- ・ 出産、子育て世代である20～39歳の女性人口が減少していること。

- ・全国的な傾向である晩婚化や生涯未婚率の上昇。

【挑戦2 社会増270人/年】

- ・20代前半の「就学・卒業・就職」を理由とした都市部への流出に歯止めがかからないこと。

- ◆第2次総合戦略ではこれらの要因を踏まえ、重点項目に「若者・女性をもっと暮らしやすいまちをめざす」を定め、若者の定住に向けた更なる施策に取り組むこととしています。
- ◆また、施策の効果と2つの挑戦目標を繋ぐ、より適切な数値目標や重要業績評価指標（KPI）の設定を研究し、施策評価の精度を高めてまいります。

## 5 基本目標別の実施状況と評価

【数値目標・重要業績評価指標（KPI）の評価方法】

目標値と令和元年度までの実績値を比較して達成率を算出し評価区分を判定しています。

達成率が100%以上をA、99～80%をB、79～60%をC、59%以下をDと分類しました。

重要業績評価指標 全31項目

A評価：9項目（29.1%） B評価：11項目（35.5%） C評価：5項目（16.1%）

D評価：5項目（16.1%） 評価できない：1項目（3.2%）

基本目標1 地域資源を活用し、個性豊かで強靱な産業を創り上げ、安定した雇用を創出する

- ①きらりと光る元気な企業群づくりプロジェクト
- ②農林水産業の成長産業化プロジェクト
- ③観光産業のバージョンアップ・インバウンド強化プロジェクト

項目/説明	戦略策定時	H28	H29	H30	R1	評価	目標値 (R元年・5ヵ年)
雇用創出数 企業の新増設、企業誘致に伴う雇用者数	—	280人増 (H27-28)	350人増 (H27-29)	530人増 (H27-30)	575人増 (H27-R1)	<b>B</b>	581人増
一次産業新規就業者数	—	59人増	111人増	152人増	181人増	<b>A</b>	156人増
重要業績評価指標（KPI）の評価							
指標数	評価A	評価B	評価C	評価D			
10	5	3	1	1			

- ・Ruby City MATSUE プロジェクトによるITのまちとしてのブランディング効果もあり、ソフト産業を中心に企業誘致、新規雇用数の創出が進みました。
- ・一次産業の新規就業者数は、新たな担い手や後継者の確保・育成に向けた各種施策の効果もあり、増加傾向にあります。今後継続して新規就業者を確保するため、農業については研修受入先の更なる掘り起こしと就農に必要な農地の確保、漁業についてはIターン者の住居の確保といった課題の解決が必要です。また、新たな森林経営管理制度の開始に伴い、林業従事者の確保・育成がなお一層求められるため、林業経営のより一層の改善と、普及啓発活動が必要です。
- ・観光産業では、官民挙げたインバウンドの取り組みの成果が見られ外国人観光客が着実に伸びていたが、今

年に入り、国際情勢や海外の経済動向の影響、さらには、新型コロナウイルスによる各国の入国制限など大きな影響を受けています。

- 地域経済の活性化、雇用の維持、さらには若者にとって魅力ある雇用の場をつくるために、引き続き、地域資源を最大限活用して「もうかる産業」(しごと)を創出していくことが必要です。

## 基本目標2 松江の魅力に磨きを掛け、新しい人の流れをつくる

- ①産官学拠点化推進プロジェクト
- ②ふるさと人材育成・学力向上プロジェクト
- ③人材還流・松江暮らし推進プロジェクト

項目/説明	戦略策定時	H28	H29	H30	R1	評価	目標値 (R元年・5ヵ年)
UIターン者数 H27から転入時アンケートで把握	-	1,333人	1,253人	1,195人	1,104人	C	1,583人
まちづくりに参加する学生の割合	55%(H27)	—	70.0%		64.6%	B	80.0%
市内企業へ就職する生徒数 (市内高等学校)	250人 /H25-27平均	265人 H27-28平均	256人 H27-29平均	206人 H27-30平均	244人	B	275人/年
市内企業へ就職する学生数 (市内専修学校、高等教育機関)	364人 /H25-27平均	393人	397人	395人	330人		400人/年
<b>重要業績評価指標 (KPI) の評価</b>							
指標数	評価A	評価B	評価C	評価D	評価できない※		
8	1	3	2	1	1		

※KPIの実績値に代えて参考値としたもの。

- UIターン者数は、島根県同様に年々減少傾向にある。人手不足から都会地の企業の採用活動が活発になっていることが影響していると考えられます。若者の人口流出に歯止めがかからない要因もこうした社会情勢によるものが大きいと考えられます。
- 若者の移住やUIターンを促進するため、令和元年度に松江ファンクラブ会員証としてスマートフォンアプリを開発・リリースしました。高校卒業時や学生へのアプリ登録を勧めるなど、関係人口の拡大に取り組んでいきます。

### 基本目標3 まちを挙げて結婚・出産・子育てを応援し、若い世代の希望をかなえる

- ①子育て環境日本一実現プロジェクト
- ②女性の活躍促進「一歩前へ」プロジェクト

項目/説明	戦略策定時	H28	H29	H30	R1	評価	目標値 (R元年・5ヵ年)
子育て支援策の満足割合 (市民アンケートから。分母は「分からない」と回答した人を除く)	55% (H27)	—	61.0%	—	64.5%	<b>B</b>	80.0%
女性の就業率(25~44歳) /就業構造基本調査	77.6% (H24)	—	85.1%	—	—	<b>A</b>	80.0%
<b>重要業績評価指標 (KPI) の評価</b>							
指標数	評価A	評価B	評価C	評価D			
5	2	2	1	0			

- ・本市独自の子ども医療費の負担軽減などの経済的な支援、妊娠期からの相談体制の確立など、様々な子育て支援策に取り組み、子育て環境、女性が活躍しやすい環境づくりを進め、着実に成果がでています。
- ・また、「まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク」を立ち上げるなど、全国的にも高い女性の就業率に対し、仕事と家庭の両立支援を官民連携で取り組み環境整備を進めています。
- ・令和元年に企業・民間団体・行政からなる婚活支援プロジェクト推進本部を立ち上げ、それぞれの強みを生かした実効性のある事業の展開とともに、地域全体で結婚を応援する機運を盛り上げることにしています。

### 基本目標4 時代に合ったまちをつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ①健康都市まつえ・安心安全なまちづくりプロジェクト
- ②松江の魅力を高める環境・都市デザイン推進プロジェクト

項目/説明	戦略策定時	H28	H29	H30	R1	評価	目標値 (R元年・5ヵ年)
住みやすさの実感割合 /市民アンケート	90% (H27)	—	87.5%	—	86.3%	<b>B</b>	95.0%
健康寿命(65歳以上平均 自立期間)※	女性 20.94年 /H20	21.03年	21.16年	21.10年 /H27	—	<b>B</b>	21.15年
	男性 17.24年 /H20	17.60年	17.78年	17.83年 /H27	—	<b>A</b>	17.78年
<b>重要業績評価指標 (KPI) の評価</b>							
指標数	評価A	評価B	評価C	評価D			
8	1	3	1	3			

※健康寿命は、SHIDS 島根県健康指標データベースシステムにより島根県で記載年を中心とした5年平均で算出されたもの。R1年度算出分は、R2.12公表予定。

- ・「住みやすさの実感割合」は、80%を超える高い割合を維持しています。市民アンケート結果からも、公共交通や買い物環境の利便性を重視する割合が高く、公共交通網と土地利用が連携した持続可能な都市構造をめざし、都市マスタープランに基づく取り組みを着実に進めていく必要があります。

- ・「健康都市まつえ」の実現に向けて、家庭、地域、企業、行政が一体となった健康づくりの取組を進めています。平成 30 年 4 月に松江保健所を設置し、医療人材や介護人材の研修の質の向上など、医師会などの関係組織とのネットワークを活用した施策を展開しています。健康寿命は、男女とも延伸傾向にあります。
- ・「要配慮者支援組織」の結成など、地域コミュニティによる「共助」の支え合いの仕組みづくり、ハード・ソフト両面からの防災・減災体制の充実を図り、地域防災力向上に取り組む必要があります。

#### 基本目標5 中海・宍道湖・大山圏域の連携強化により、日本海側の拠点をつくる

- ・中海・宍道湖・大山圏域市長会総合戦略推進委員会で検証済み

## 松江市第1次総合戦略重要業績評価指標（KPI）一覧

基本目標	重点プロジェクト	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	戦略策定時
1 地域資源を活用し、個性豊かで強靱な産業を創り上げ、安定した雇用を創出する	①きらりと光る元気な企業群づくりプロジェクト	カイゼン活動取組開始企業数	ISO9001・ISO14001の認証を促進し、カイゼン活動の取組を開始した企業数	新規のため 現状値なし
		設備導入支援利用企業数	製造業の中小企業者が受注の拡大、新規製品開発のために必要な工作機械やソフトウェア等の購入を支援する制度＝設備導入支援事業補助金を利用した件数	延べ67社 (H25-H26)
		開発スタートアップ取組件数	企画・設計から試作開発までを対象とした「開発スタートアップ支援事業」の利用件数	新規のため 現状値なし
		実用化・商品化件数	試作開発後の実用化・製品化に向けた取組を支援する「実用化製品化支援事業」の利用件数	新規のため 現状値なし
	②農林水産業の成長産業化プロジェクト	農林水産生産額	農林水産生産額	61億円 (H23)
		新商品・新サービスの品目数	地域資源を活かした新商品・新サービスの品目数	39件 (H26)
	③観光産業のバージョンアップ・インバウンド強化プロジェクト	観光入込客数	市内観光入込客数	960万人 (H26)
		観光宿泊客数	市内観光宿泊客数	222万人 (H26)
		外国人観光入込客数	市内外国人観光入込客数	5.1万人 (H26)
		外国人観光宿泊客数	市内外国人観光宿泊客数	2.3万人 (H26)
2 松江の魅力に磨きを掛け、新しい人の流れをつくる	①産学官拠点化推進プロジェクト	誘致・新增設企業数	市内へ誘致した企業数、新增設をした企業数	45社 (直近5年間)
		②ふるさと人材育成・学力向上プロジェクト	全国学力・学習状況調査（小6、中3）における全国平均値以上の調査項目数	学習状況調査（意識調査）結果から、全質問（毎年60問程度）に対して肯定的回答が全国平均値を上回った項目の割合
	家庭学習が1日1時間以上ある児童生徒の割合		小学校6年生	62.4% (H27学習状況調査)
			中学校3年生	54.1% (H27学習状況調査)
	Rubyを用いた授業を受けた中学生の延べ人数	Rubyを用いた授業を受けた中学生の延べ人数	延べ1,846人 (H24-27)	
	③人材還流・松江暮らし推進プロジェクト	ファンクラブ会員数	ファンクラブ会員数（松江市民以外で松江を応援するファン） ※ファンクラブR1.12設立のため、松江にゆかりのある方に手紙等で情報発信を行った延べ人数を参照する。	新規のため 現状値なし
		UIターン支援者数	市の支援を受けたUIターン者数	130人 (直近5年間)
地元企業への就職件数		松江公共職業安定所が紹介し、就職に至った延べ件数（パート含む）	26,628件 (直近5年間)	

### 【特記事項】

#### ・開発スタートアップ取組件数

開発案件の相談はあるが、開発スケジュールにあわないなどにより補助金の活用に至らなかった。補助制度の周知と企業の新製品・新技術開発案件の掘り起こしに努める。

#### ・全国学力・学習状況調査（小6・中3）における全国平均値以上の調査項目数

学習状況調査の実績値により評価を行う。

本市で全国平均を上回っている項目は「計画的な家庭学習」や「地域や社会への関心」「探求的な学習への取り組み」等である。学習状況調査と学力調査の相関係数によると、教科への興味関心の深さや授業の理解度、自ら工夫して取り組む姿勢が高いことが示されていることから、学力向上に向けて、ICTを活用した教育の推進、教職員研修の充実など、質の高い授業改善につなげていく。

実績値				評価	目標値
H28	H29	H30	R1		R1年度・H27-R1
延べ2社	延べ4社	延べ9社	延べ10社	A	延べ8社
延べ66社	延べ94社	延べ130社	延べ165社	A	延べ150社
延べ1製品	延べ3製品	延べ3製品	延べ4製品	D	延べ15製品
延べ2製品	延べ3製品	延べ4製品	延べ5製品	A	延べ5製品
91億円 (H27)	99億円 (H28)	97億円 (H29)	96億円 (H30)	A	94億円
51件	57件	69件	73件	A	60件
1026万人	998万人	974万人	1046万人	B	1100万人
210万人	209万人	203万人	211万人	B	250万人
9.2万人	11.7万人	12.8万人	10.7万人	C	15万人
4.7万人	5.5万人	7.5万人	7.9万人	B	9万人
延べ18社	延べ24社	延べ30社	延べ34社	C	延べ45社
67.9%	70.7%	65.0%	54.5%	D	100.0%
68.0%	64.5%	69.9%	66.5%	B	80.0%
52.5%	58.2%	62.6%	61.1%	C	80.0%
延べ3663人	延べ5374人	延べ6980人	延べ8590人	B	延べ8700人
(参考値) 1,177人	(参考値) 1,300人	(参考値) 1,448人	(参考値) 1,159人 延べ6,355人	—	延べ1万人
延べ103人	延べ157人	延べ212人	延べ323人	A	延べ170人
延べ9957人	延べ14786人	延べ19556人	延べ23631人	B	延べ27959人

【特記事項】

・ファンクラブ会員数

松江ファンクラブは令和元年12月に設立したため、本指標については、松江にゆかりのある方に手紙等で情報発信を行った延べ人数を参照する。

なお、ファンクラブの設立に合わせ会員証として松江ファンクラブアプリ「ぎゅっと松江」を開発・リリースし、令和2年3月末時点の会員数は、1,313人である。

## 松江市第1次総合戦略重要業績評価指標（KPI）一覧

基本目標	重点プロジェクト	重要業績評価指標（KPI）	指標の説明	戦略策定時
3 まちを挙げて結婚・出産・子育てを応援し、若い世代の希望をかなえる	①子育て環境日本一実現プロジェクト	結婚希望割合	結婚希望割合 ※市民アンケート調査（10代～50代）	67% (H27)
		理想とする子どもの数	理想とする子どもの数 ※市民アンケート調査	2.5人 (H27)
		年度中途の待機児童数	年度中途の待機児童数 （各年度の3月1日現在・算出は国定義）	281人 (H27.3)
	②女性の活躍促進「一歩前へ」プロジェクト	男女共同参画推進宣言企業数	男女共同参画推進宣言企業数	新規のため 現状値なし
指導的立場にある女性の割合		指導的立場にある女性の割合	16.7% (H24)	
4 時代に合ったまちづくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	①健康都市まっえ・安心安全なまちづくりプロジェクト	受診率（国保特定健診）	受診率（国保特定健診 実績値）	47.5% (H26)
		国民健康保険給付費（医療費）	国民健康保険給付費（医療費）	137.0億円 (H26)
		福祉ボランティアポイント登録数	ボランティア受入施設（介護施設）においてボランティア活動を行うことを登録した65歳以上の市民 【算出方法】平成30年度の見込みを踏まえ、年間概ね50人増加すると見込み算出。	新規のため 現状値なし
		要配慮者支援組織設置数	各地域の実情に応じて防災や福祉等の関係者や組織が連携し、平常時から地域での「共助」の支え合いの仕組みを作ることを目的とする支援組織	108組織 (H26)
	松江市全世帯数に対する要配慮者支援組織が活動範囲としている地域の世帯数の割合		18.8% (H26)	
	②松江の魅力高める環境・都市デザイン推進プロジェクト	人口集中地区内の人口密度	人口集中地区内（DID）の人口密度	48人/ha (H22)
		路線バス・コミュニティバス利用者数	路線バス・コミュニティバス利用者数	495万人 (H26)
		歴史的建造物登録認定数	松江市歴史的建造物登録認定制度での登録認定数	新規のため 現状値なし
空き家バンクの成約件数		空き家バンクの成約件数	12件 (H26)	
5 中海・宍道湖・大山圏域の連携強化により、日本海側の拠点をつくる		圏域への観光入込客数	圏域への観光入込客数	2,865万人 (H26)
		圏域での外国人宿泊客数	圏域での外国人宿泊客数	5.6万人 (H26)
		山陰いいものマルシェ来場者数	山陰いいものマルシェ来場者数 目標値：延べ15万人（3年間累計）	新規のため 現状値なし
		ビジネスマッチング商談件数	中海・宍道湖・大山圏域内企業とのビジネスマッチング商談件数	301件 (H26)

### 【特記事項】

#### ・福祉ボランティアポイント登録数

ボランティア保険料が登録者の負担であったことや、登録申請及び交付申請にかかる手続きが煩雑であったため、令和元年度に見直しを行い、令和2年度からはボランティア保険を事業費として負担することとし、手続きを簡素化した。

実績値				評価	目標値
H28	H29	H30	R1		R1年度・H27-R1
—	70%	—	66.5%	B	80%
—	2.6人	—	2.4人	B	2.7人
415人	419人	337人	77人	C	皆減
36社	40社	45社	92社	A	90社
—	23.1%	—	—	A	20%
43.7%	50.0%	50.5%	51.4% ※参考：49.2% (R2年5月現在速報値：法定値)	B	60.0%
138.2億円	137.6億円	136.1億円	134.1億円	B	134億円
-	96人	123人	93人	D	200人
148組織	157組織	176組織	200組織	C	280組織
22.4%	26.0%	36.7%	38.1%		48.0%
48人/ha	48人/ha	48人/ha	48人/ha	A	48人/ha
488万人	489万人	480万人	475万人	B	500万人
延べ3件	延べ8件	延べ11件	延べ13件	D	延べ40件
延べ39件	延べ47件	延べ53件	延べ60件	D	延べ108件
2,827万人	2,745万人	2,721万人	2857万人	-	3870万人
9.4万人	11.7万人	12.9万人	14.7万人	-	11.2万人
延べ8.8万人 (2年間累計)	延べ10万人 (H27～H29)	延べ12.5万人 (H27～H30)	令和元年度は マルシェ中止	-	延べ15万人 (3年間累計)
延べ984件	延べ1,695件 (H27～H29)	延べ2,346件 (H27～H30)	延べ3,009件 (H27～R1)	-	延べ1,800件

【特記事項】

・歴史的建造物登録認定数

松江市歴史的建造物登録認定を受けた建造物の所有者は建造物の維持管理を行い、松江市はその維持管理行為に対し支援を実施するという10年間の期間の契約を行い歴史的なまち並みの保全継承を実施していく制度である。財源が整わず、登録件数が伸びていない。

・空き家バンクの成約件数

「空き家バンク」登録物件の成約率は87%と高いが、登録件数が少ないため、登録物件を増やし、空き家や中古住宅の流通を促進する必要がある。そのため、①総合相談窓口での相談者や出前講座・終活セミナーなどの受講者への働きかけや、②空き家の利活用に関する冊子の作成・配布などを行っていく。